

## IMSBC コードに記載されていない貨物の性質及び運送条件

1 ばら積み貨物運送品目名:Tentative Bulk Cargo Shipping Name  
コールタールピッチ

2 貨物の説明:DESCRIPTION

コークスを製造時に得られるコールタールを蒸留した時の蒸留残留物である。数環の多種類の芳香族炭化水素が主成分であり、この貨物の取扱いによる健康被害の事例はないが、ベンゾ[a]ピレンなどの不純物を含む場合がある。常温で黒い固体であるが、軟化点（80～120℃）を越える温度に加熱すると流動性がある。若干のコールタール臭がある。水に不溶。電極原料、コークス炉用粘結補填材に用いられる。水分値の上限は6%。

この貨物は、粒径が大きいため液状化の危険性がないこと、又は、水分値が品質管理等の目的で管理されており液状化が問題になる値よりも低いことが保証される。

3 貨物の性状:CHARACTERISTICS

3.1 種別:GROUP C

3.2 見かけ密度(kg/m<sup>3</sup>):BULK DENSITY  
600～1100 kg/m<sup>3</sup>

3.3 載貨係数(m<sup>3</sup>/t):STOWAGE FACTOR  
0.9～1.7 m<sup>3</sup>/t

3.4 粒径:SIZE  
最大 100 mm

3.5 等級(種別 B の場合に限る):不適用  
国連番号(危険物の場合に限る):不適用

3.6 静止角(非粘着性物質の場合に限る):ANGLE OF REPOSE  
不適用

4 危険性:HAZARD

この貨物は不燃性又は火災危険が低い貨物であるが、加熱すると融解し引火性の液体となる。

通常取り扱いでは安定であり、毒性又は可燃性のガスは発生しない。軟化点は 80～120℃であり、120℃以上に加熱されると熔融し、可燃性ガスが発生し引火性となる可能性がある。

5 運送条件

5.1 積付及び隔離要件:STOWAGE & SEGREGATION  
特段の要件は無い。

5.2 船倉の清浄さに係る要件:HOLD CLEANLINESS  
特段の要件は無い。

5.3 天候に係る要件:WEATHER PRECAUTIONS

この貨物は、実行可能な限り乾いた状態に維持すること。この貨物は雨中で荷役してはならない。ただし、雨中荷役を実施しても、その雨による貨物の水

分値の増加が液状化の可能性を生じないことについて荷送人により証明された場合は、その雨の中で荷役を実施しても良い。

#### 5.4 積荷役時の要件:LOADING

粒径が大きいため液状化の可能性がないこと、又は、貨物の水分値が管理されており液状化が問題になる値よりも低いことが、荷送人により船長に申告されていること。

コード本文第 4 章及び第 5 章の関連規定に従って荷繰りすること。

※「コード本文第 4 章及び第 5 章」の記載については、平成 23 年 1 月 1 日から施行される国内規則の該当する条項を記載予定。

#### 5.5 各種の要件:PRECAUTIONS

この貨物に触れるおそれのある者は、保護手袋を着用すること。

#### 5.6 通風要件:VENTILATION

特段の要件は無い。

#### 5.7 運送時の要件:CARRIAGE

特段の要件は無い。

#### 5.8 揚荷役時の要件:DISCHARGE

特段の要件は無い。

#### 5.9 清掃に係る要件:CLEAN-UP

特段の要件は無い。

#### 5.10 非常時の措置:EMERGENCY PROCEDURES

##### (1)備えるべき特別非常用装備 (SPECIAL EMERGENCY EQUIPMENT TO BE CARRIED)

マスク (可能であれば防毒)、保護手袋、保護メガネ、作業衣、

##### (2)非常時の措置 (EMERGENCY PROCEDURES)

保護具の着用

##### (3) 火災発生時の行動 (EMERGENCY ACTION IN THE EVENT OF FIRE)

第 3 者 (海上保安部・荷主等) へ救助を求める。消火作業は離れた位置より消火設備を用いて海水を放水する。大規模火災の際は、場合によっては速やかに退船する。

##### (4) 応急医療 (MEDICAL FIRST AID)

吸入した場合：

- ・被災者を新鮮な空気のある場所に移す。
- ・呼吸の停止または呼吸が弱い場合は人工呼吸をする。
- ・毛布などを使用して体の保温に努め安静に保つ。

皮膚に付着した場合：

- ・汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。
- ・多量の水または石けん水で十分に洗い落とす。
- ・高温熔融コールドタールピッチが付着した時は、清澄な流水で冷やし火傷の進行を防ぐ。

目に入った場合：

- ・清浄な流水で最低 15 分間目を洗浄する。
- ・洗眼の際、眼球とまぶたの隅々まで洗浄する。
- ・コンタクトレンズは固着していない限り取り除いて洗浄する。

**飲み込んだ場合：**

- ・水で口の中をよく洗う。
- ・意識がない被災者に、口から何も与えてはならない。

**予想される急性症状及び遅発性症状：**

- ・角膜炎、結膜炎、皮膚炎。高濃度の蒸気を吸入した場合、呼吸困難、吐気、嘔吐、めまい、食欲不振などの症状。